



日本共産党区議会議員

こんにちは  
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-7-23  
足立区役所 電話3880-5111(内線4650-4654)  
日本共産党区議団 直通3880-5770

<http://www5.famille.ne.jp/~k-itou/index.html>

# 区民の願いが 実現・前進

## 第3回定例議会で日本共産党が取り上げ

### 子育て支援

足立区議会第3回定例会は、終了しましたが、その中で実現・前進した区民要望について、先日引き続きお知らせします。日本共産党などの質問に区が答えました。

#### 育児不安解消

#### バックアップ

東京都のモデル事業として他の自治体で行っている「出産直後から助産師等による宿泊ケアやデイケアを親子一緒に受けられるサービス」を足立でも行うよう初めて提案。区は「他の実績を見ながら検討」と答弁。



### 私立幼稚園の

#### 保護者負担軽減

3人目からの軽減策など、総合的に検討すると答弁。

### 認証保育所の

#### 保護者負担軽減

認証保育所の保育料は高いことを認め、助成額の拡充は総合的に研究すると答弁。

### 解体工事(アスベスト対策を含む)指導要綱策定へ

解体工事の被害にともなう指導要綱がなく困っていた区民の要望を受けてくり返し質問。区は初めて「区民の健康被害防止のため要項をつくることを検討する」と答弁

## 環境・温暖化対策

### 廃棄物処理施設の

#### 悪臭対策

悪臭や騒音から地域環境を守るため、一般廃棄物処理施設の新規参入を規制する指導要綱を検討すると答弁。



### 温暖化対策

「BDF(廃てんぷら油を拠点回収してディーゼル車に活用)」を来年度からモデル事業で実施。庁内の施策評価すべてに「環境」の指標を設け、チェックをする。緑

の一元管理をして、効果的に緑を増やすなど、全庁的な取り組みをすすめることに。

「太陽光発電の活用(市民共同発電所)」についても検討すると答弁。

## 区の緊急融資

### 区の緊急融資に 申し込み殺到

日本共産党の繰り返し要求がみのり、10月から始まった「かりかえ」

**12月25日まで**

## 期間延長実現!

### 建設資材高騰対策 も前進!

#### 単品スライド方式を

#### 7月にさかのぼって拡充

「運転資金」に活用できる緊急融資。区の5年間の利子補給がある制度です。

7月にさかのぼって拡充。区の発注する工事の資材や燃油について、8月に初めて(高騰分を区が補充する)単品スライド方式の導入を決めました。さらにぬかが和子は「条件が厳しい。実態に見合った改善を」と求めてきました。

申し込みが殺到し、現在で一一〇〇件を超えています。日本共産党は、本会議代表質問などで「11月末までとなっている融資期間の延長を」と強く要求してきましたが、区は、冷たく拒否してきました。

ついにその拡充が決まりました。これにより、工事総額の0.5%以上、資材などがあがった分を区が負担する(今までは1%以上)、対象も鋼材以外の資材も対象とする(今までは燃料と鋼材のみ)ことになりました。7月4日契約分までさかのぼって適用するようになりました。

必要な方はぜひご利用を!



# 竹ノ塚センター 300人が参加

# 竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進大会 平成23年度着工をめざし決議



竹ノ塚駅踏切で調査する伊藤区議・右側



竹ノ塚地域学習センターホールで「竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会」の第4回定期大会（10月9日）が開かれ約300名が参加しました。2005年3月15日、竹ノ塚駅37号踏切で2名の方がなくなる事故が発生しました。この事故をきっかけに区議会では超党派の足立区議会鉄道高架化促進議員連盟が発足。足立区も鉄道高架にむけて国土交通省に竹ノ塚駅の鉄道高架化の早期実現を要望しました。国も連続立体化事業の各種要件を緩和しました。2006年足立区が国土交通省の鉄道連続立体化事業の

施工者になり、事業の着工準備採択をうけました。今後、都市計画決定を実施し平成23年度工事着工をめざすことになっていきます。

年月日	竹ノ塚駅鉄道高架化促進協議会 総会報告
平成19年10月15日	竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進協議会 第3回定期大会
10月31日	協議会が東京都に要望書を提出
平成20年1月25日	竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進協議会 協議会理事会
2月18日	協議会が国土交通省に要望書を提出
3月15日	協議会が事故現場での献花及び協議会ニュースの住居配布を実施
4月21日	協議会が東武鉄道株に要望書を提出
5月26日	協議会が東京地下鉄株に要望書を提出
8月8日	竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進協議会 協議会理事会

大会は第3回大会以降の経過報告、事業計画、決議を採択し終了しました。竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会活動計画 関係機関への要請行動 今後、国、東京都、東武鉄道株及び東京地下鉄株への要請活動を行う。 区民への広報・参加呼びかけ 協議会ニュースを発行し、広く区民に対し広報活動を行うとともに、協議会への参加呼びかけを行う。 3月15日（事故発生日）の対応事故現場での献花及び協議会ニュースの街頭配布を実施する。

## 住みつづけられる花畑団地に

都市再生機構URがすめようとして「花畑団地・複合型団地再生事業」は、全体2725戸を1367戸にする団地削減・土地売却を行う計画です。住民に十分知らせないまま、補償金をちらつかせて花畑団地から出て行くことだけを説明し事業計画を実施することは居住者の追い出しを図る



笠井亮衆院議員、大島よしえ区議・都政対策責任者と交渉する伊藤区議(10月2日・衆院議員会館)

9月にURが説明会で「希望調査票(花畑団地)」を配ったので「団地に住みつづけたい」と、思いを書いて出そうと思います。URは花畑団地に住みたい、の人が多ければ「住む住宅は確保する、計画の変更もある」と言っているし、声を出して計画をやめさせたい。(七五歳 男性)

URには、「再生」計画の内容をきちんと明らかにさせるとも、10年間も入居募集を中止し、計画修繕もしない、花畑のまちが衰退するなど責任を明らかにして改善を迫っていく必要があります。住宅に困っている人が多いなかで若い世帯を入居させること。修繕を行い活性化をすすめることです。住民の願いに背を向け、居住者を追い出す花畑団地「再生」計画は撤回させるしかありません。

ものです。